

跳ねている君

徳富雅人

穏やかでポンコツな君に会いに行った
東京で出会った君が住む、君の故郷青森へ
久しぶりに開催されるねぶた祭り
一度は見てみたかったから、
君に会いに行った

圧巻のねぶたがやってくる
まだよく、ねぶたが見えない
ねぶたの前で踊る人たちに目が向く
ハネトと言う、と教えてくれる
圧巻のねぶたがやってくる
ねぶたへぐっと目を向ける
圧巻のねぶたがやってくる
ねぶたを下で動かす人たちへ
すっと目が落ちる
圧巻のねぶたが去っていく

俺もハネトだったんだと、君が言う
こうやってやるんだよと、君が跳ねる
夏の夜の、涼しくて、誰もいない住宅街で、
ぼくが少し知らない君が、跳ねている

跳ねている